

研究課題名	腎盂尿管癌の治療成績に関する研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院、東京大学医学部附属病院を含む計15施設
研究責任者	所属 泌尿器科 氏名 山田 幸央
研究期間	臨床研究倫理委員会承認後 ～ 2028年3月
研究の意義・目的	腎盂尿管癌は同じ尿路上皮癌である膀胱癌と比較してまれであり、尿路除上皮癌の5～10%に過ぎない。転移のない腎盂尿管癌に対しては腎尿管全摘除術が標準治療であるが、リンパ節郭清の範囲や周術期の化学療法の意義が確立されていない。一方転移を有する場合は全身化学療法の適応であるが、術後単腎となった腎機能障害を有する症例が多く、標準的な化学療法が行えない症例がある。このような臨床的問題点を解決するためには、単一施設の限られた症例では不十分であり、多施設の症例を集積して研究することで、臨床上の問題点が解決できることが期待される。
研究の方法 (対象期間含む)	各研究参加施設において1990年1月1日から2021年6月30日の間に診療した腎盂・尿管癌患者で診療録並びにCT/MRIなどの画像情報が保存されている症例を対象とする。武蔵野赤十字病院では約100症例が該当する。診療録（カルテ情報）、CT/MRIなどの画像情報、血液データなどから、年齢・性別・合併症・既往歴・家族歴、診断時のステージ、腎尿管全摘除術施行時の手術記録、病理検査、術前術後に行われた補助化学療法の内容・コース数、術後経過観察中の膀胱再発の有無・局所再発・遠隔転移の有無、これらに対する治療の詳細、最終転帰などを収集する。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①対応表のある匿名化後の個人情報を含まない電子データとして、主任研究施設である東京大学医学部附属病院泌尿器科・男性科に提供される。電子データはパスワードロックのかかるファイル形式のデータとして、Eメール添付もしくはCD-ROM等に記録し郵送または手渡しで提供される。匿名化に際して、対応表は当院においてエクセル等を用いて作成し保管する。 ②上記研究の対象を参照 ③資料の収集・匿名化：当院泌尿器科外来・医局・病棟において当院泌尿器科医師、および秘書。 資料等の解析および保存：東京大学医学部附属病院泌尿器科・男性科医局事務室・講師室 ④【主任研究責任者】 東京大学医学部附属病院泌尿器科・男性科：講師 佐藤 悠佑 【分担研究責任者】 武蔵野赤十字病院泌尿器科：部長 山田 幸央
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 泌尿器科 氏名 山田 幸央  TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線） FAX：0422-32-3525